



私たちは、こと我が子に関しては、大きな錯覚に陥りがちです。その一番は、我が子を一番理解しているのは自分だという思いこみです。

我が子を愛しているから、お父さんは、夜十一時、十二時まで身を粉にして働くのかもしれない。お母さんも、疲れた、疲れたを連発しながらもパートに出ているのではないのでしょうか。

こうして働いて稼いだお金で塾通いをさせるものの、成績は一向に上がらない。そうすると、親はイライラがつのります。むしろ、すぐには子どもを叱りつけたりしません。それはいけないことだと誰もが知っているからです。叱るよりも認める方が教育的だと分かっているからです。

しかし、問題なのは、本気で子どもの気持ちや立場になって考えることをしてないことです。大人の「あなたのため」は、子どもから言わせると「自分勝手な思いこみ」なのかもしれません。

「わたしのことなんか、ちっとも考えてくれない。」お母さんは、わたしのことなんかどうだっていいと思ってるんだから。「こんなきつい科白を我が子から投げつけられた経験を持つ親も少なくないはず。小学校の

五・六年生なら、「お母さんは、うるさいんだから。」「一回いえばわかってるよ。」と、一言ぼつりつとぶやく。ここで、「なに、もう一度いつてごらん。そんな口の利き方、お母さんは許さないから。」などと力んでしまうともう終わりです。反論すれば、口げんか間違いなし、信頼の絆はブツツリ切れてしまいます。反対に、不信といういやな感情が残ってしまいます。確かに、子どもの気持ちや立場なんか、親の方は考えてはいないのかもしれませんが。



勉強したのに点数がとれなかった悔しさ、勉強しなきゃと思いつつテレビに釘付けになり、結局何もせず眠ってしまったためな自分への嫌悪感、どの子だって「今度こそ、失敗は繰り返さないぞ。」と心の中で誓おうとするのです。

しかし、親はここで甘やかしてはならぬと力んでしまうのです。勉強の分野だけではなく、生活の面でも、友だち関係の面でも遊びの領域にまで親が口を出すと、こんなパターンになってはいないでしょうか。これでは、子どもたちから「身勝手」と思われても仕方あ

りません。ある学校の小学五年生の女の子の話です。いつも元気よく起きてくるのにその日はパジャマ姿で一向に動く気配がありません。お父さんは、その様子を見て、ひどく疲れているようだから、休ませてあげようと思うのです。しかし、お母さんは、「今日は、歯科検診もあるし、学期始めが肝心。」と反対。でも、お父さんは、「休んだら。」と、声をかけると、娘は、「少し休んで、元気になったら行く。」といひます。

お母さんは、そういうルーズな子は、学校でいじめにあうのではと心配です。先生に不真面目な子と受けとられるのではと不満気です。でも、お父さんは「他人の眼で生きているんじゃない。子どもだって自分の体は自分で一番分かっている。自分がこうしたいという気持ちが大切だ。遅刻しても学校に行くつてすぐ偉いと思う。」

他人の価値観で生きているんじゃない。自分の気持ちを大切にしなければ。自分のお父さんの言葉は、お母さんを落ち着かせ自信を回復させました。

親は、子どもを落伍者にしたくない。「たくましい子に育てなければ」と我が子への愛情はこの上ないのです。でもそこに「子心」が忘れられていませんか。我が子がどう思い、何を願っているのか無視されてはかわいそうです。世間一般の眼で我が子を見るのではなく、我が子に心を寄せ、共に歩んで行く姿勢を持ちたいと感じます。

伝言板

富士北麓・東部地域振興局健康福祉部(大月保健所)

「看護の日」ご案内
看護の心をみんなの心に

障害者ケアマネジメントについて

五月十二日は「看護の日」
五月十一日～十七日は

「看護週間」です。

これは、近代看護の創始者であるナイチンゲールの生誕を記念して制定されています。この機会を通じて、「看護の心」の普及啓発を行い、看護についての関心、理解を呼びかける目的に「フェスタ看護」と銘打って様々なイベントが開催されます。

☆第二十五回山梨県看護大会
五月十四日(水)午後二時～
ベルクラシック甲府

☆いきいき看護写真展
五月十一日(日)～十七日(土)
JR甲府駅南北通路

☆看護の心普及街頭キャンペーン
五月十二日(月)
JR大月駅前・上野原高校前
富士急行赤坂駅前他

☆一日看護師
六月～七月の期間、管内高
校生を対象に一日看護体験

問合先 健康福祉部健康支援課
☎(22)7827

平成15年度より、身体障害者、知的障害者及び在宅の障害児に係る一部のサービスについて、措置制度に代わる支援費制度がスタートします。

また、精神障害者については、昨年度からホームヘルプサービスなどを中心とした精神障害者居宅生活支援事業などが実施されています。

このため、障害者の意向を最大限尊重しながら、障害特性に配慮し、一人ひとりの生活に必要な福祉・保健・医療・教育・就労などのサービスを総合的・一体的に提供できるようにする手法である障害者ケアマネジメントが本格実施されます。

障害者が障害のない人と同等に生活し、活動する社会を目指すノーマライゼーションの理念の下、障害者の自立と社会参加の促進が図られるように、今後の新しいサービス利用制度を有効に利用できるように、各種サービスや関係機関などの調整を行います。

お気軽に御相談ください。